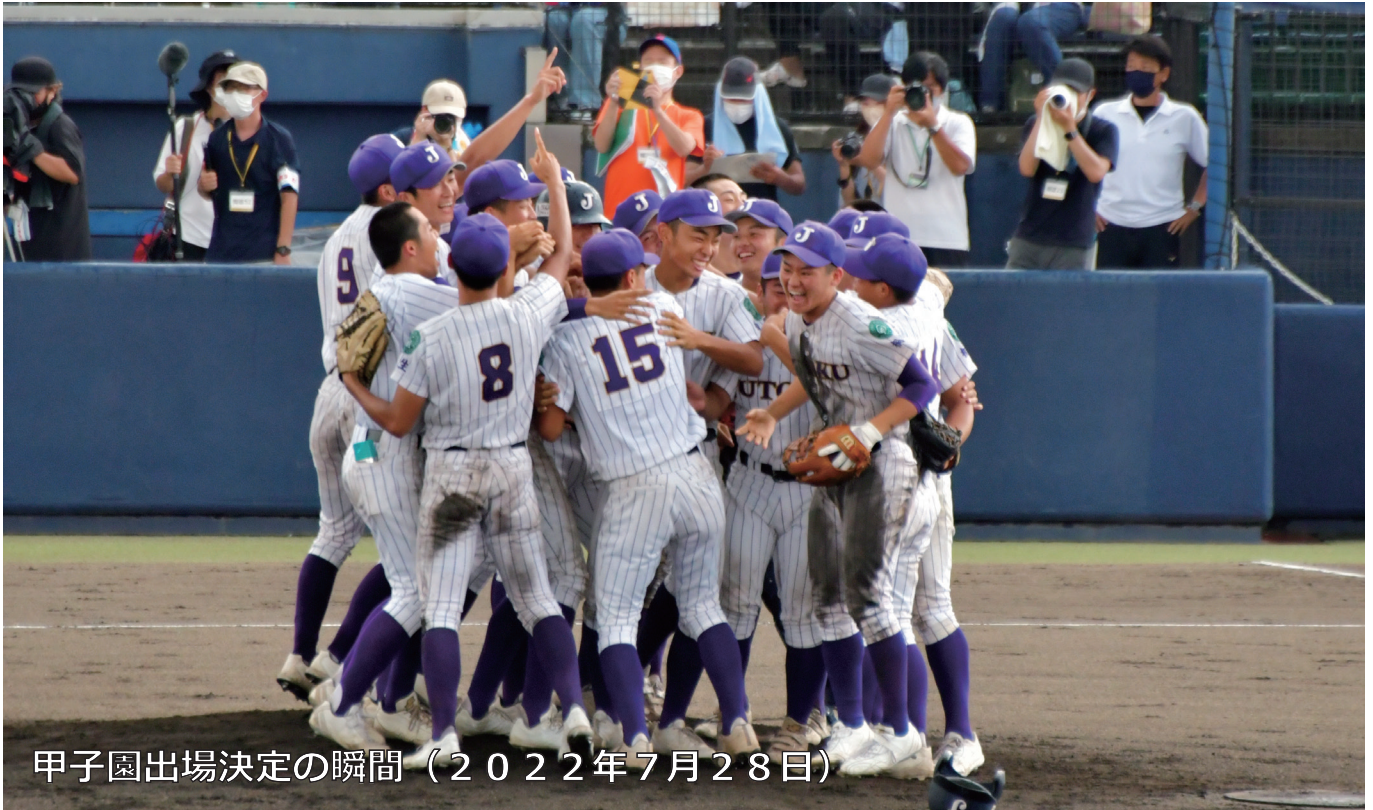




樹妙だより

No.198 2022/10.11



甲子園出場決定の瞬間（2022年7月28日）

慈 悲 喜 捨

10月5日は、アップル社を創設した“スティーブ・ジョブズ氏”の命日です。彼は、56歳の若さでこの世を去りましたが、新たな挑戦をする人たちに希望と勇気を与えています。

彼が、米国のスタンフォード大学卒業式で行ったスピーチは、ジョブズ氏自身の波乱に満ちた人生や、癌の宣告を受けたショックとそこから得た気付きなど、彼自身の生涯が凝縮された「伝説のスピーチ」と言われています。

そのスピーチは、冒頭で卒業生たちを和ませ、「私は3つの話を皆さんに紹介します。大したことのない3つの話です」と要点を告げて、わずか数十秒で卒業生たちの心を掴みます。そして、「点を繋げること」、「愛と喪失」、「死」について語ります。話の中に盛り込まれたユーモアや、分かりやすさから、卒業生にとってはあっという間の時間だったようです。スピーチは最後に、“Stay Hungry. Stay Foolish.”（ハングリーであれ、愚か者であれ）と締め括（くく）られます。

ジョブズ氏の講演は、「他人が考えた結果によって、自分の内なる声がかき消されないように

する」「最も重要なのは、自分の心と直観に従う勇気をもつ」「心と直観は、本当になりたい姿を知っている」ということを言っています。

また、ジョブズ氏は、iPod開発時に、担当者が試作機を見せたところ、「もっと小さくするように」と指示をします。担当者が、「これ以上は小さくできません」と返すと、ジョブズ氏は、水槽に試作機を落として水の中に泡が出ることを見せて、隙間があることを理解させたということでした。これは発想の違いが、進展へ繋がるということを示しています。

さて、季節は「天高く馬肥ゆる秋」となりました。元々は中国の唐の時代の言葉で、戒めの意味があったということですが、現代では、「空が澄み渡り、快晴の中で馬が食欲を増して、肥えてたくましくなるほど過ごしやすい」ということを表しています。新学期に立てた目標を実現するために最も適した季節となります。今を大事にして、学習や運動、趣味などで、一人ひとりがよい成果へとつなげられるよう、日々努めましょう。

教頭 金安伸一



樹徳高等学校長
野口秀樹

今日は9月10日、この原稿を書いておりますが、樹徳高校が所在する桐生市では本年本日「球都宣言」を致しました。

上毛カルタでも知られるように「桐生は日本の機どころ」、「西の西陣、東の桐生」こんな言葉も昔の教科書にはありました。そんな理由で地元では「織都桐生」などと呼んでおります。語呂合わせになりますが、野球が盛んな都、「キュート桐生」でもあります。旧制中学時代から現在まで、甲子園出場回数春夏あわせ26回の高校、また市内5つの高校が甲子園出場、その中には全国優勝校までありました。高校野球は桐生市民が大好きなスポーツであります。

制定ひと月前、樹徳高校も、30年ぶり3回目の夏の甲子園出場を果たしました。野球部員の頑張り、また吹奏楽部ダンス部をはじめとする在校生の応援も見事でありました。

この優勝したチームは、3年生部員最後の大会まで公式戦1勝もしていないチームでありました。

昨年秋、新チームを結成して、秋季大会に臨むはずでありましたが、新型コロナウイルス感染部員が数名出てしまいました。あと2日あれば全員復帰できる、または第2チームで初戦を戦えばというような選択肢もありましたが、校長の私が「辞退する」選択をしました。当時の野球部長などは本当に悔しがりましたが、他のチームに迷惑がかかるようなことがあってはとの結論でした。新チーム初めての公式戦ですから、選手たちは出たかったと思います。

その後、どんな思いでオフシーズンを過ごし、体と心を鍛えたのでしょうか。2回目のチャンス、春の大会が始まりました。

秋の大会に出場しておりませんので当然ノースードです。1回戦の相手は全国制覇を経験した名将福田監督率いるシード校の利根商業高校、期待していたのですが案外7対3で大敗しました。

あれから3ヶ月が経過し、3年生にとって最後となる夏の大会、抽選会では真に厳しいゾーンを引き当てました。

負け惜しみともつかない「ラッキー、いずれにしても、これらの強豪を倒さなければ勝ち進めないのだから」こんな言葉を私は関係者に話しました。野球部長は公式の席で「公式戦でまだ勝ち星の無いチームです。普通ですと大会で必ず3回は勝つチームですから、秋と春の分6勝はしますので、楽しみにしてください」。ど

こに根拠があるのかわかりませんが、ニコニコしながらそう言い切りました。

今年も特別暑い夏、1回戦はコールド勝、2回戦は春の大会ベスト4の強敵、前橋商業であります。これは私のイメージなので、監督や選手たちはどのように思っているかわかりませんが、やりにくい相手、9回まで白熱した投手戦、どちらも一步も譲りませんでした。9回、本校が流れを引き寄せ3点とって完封勝利。3回戦は仲間の私学高崎商科大学付属高校を6対1で破り、4回戦進出。次の相手は春の優勝校、第1シードの前橋育英高校、5年連続夏の甲子園出場、ブロックの関係ですからやむを得ないのであります。ここで今大会優勝候補の筆頭と対戦することになりました。

当日、樹徳は第一学期の終業式、試合も同時進行でした。式典の最中、私は在校生に「今、野球部は必死に戦っている。期待しよう！」そんな話をしました。

ピッチャー亀井君のクレバーな投球と各選手の完璧な守り、そして積極的でチャンスに強いバッティングで、終わってみれば6対0完封勝利。驚きました。

5回戦、こちらも気の抜けない春の大会ベスト4、私学三強の一角桐生第一高校、プロが目にするような選手がいる中、1回に先取点を取りましたが、5回に一気に5点とられて逆転、このまま桐一の流れになってしまうかと思われたのですが、その裏、こちらも反撃し、同様5点を取って再逆転、打力の桐一との打ち合いとなり、10対7で逃げ切りました。

いよいよ夢に見た決勝戦、4年連続決勝戦に出場している、高崎健康福祉大学高崎高校、長距離バッターをそろえた強力打線、6試合連投の亀井君がどこまで通用するか。但し今大会、生徒たちのまとまりと前を向く勢いは本校がナンバーワンでありました。6対4で勝利することができました。

選手たちと応援の在校生たちと燃えた夏でありました。本当に楽しい夏でありました。生徒たちの可能性は楽しいですね。合掌



第104回
全国高等学校野球選手権群馬大会
閉会式

一貫校 **中学校** だよ！ 幸運に感謝

一学期終業式の日、職員朝会の時にこんな話をしました。

『今日生徒に渡される通知表に一貫校で初めて校長印として私印を使用しました。この印鑑は四十数年前に勤務していた前橋高校で春の甲子園に出場した時に、記念として個人で作ったものです。それ以来ずっと大切に使用してきました。先生方も教師生活の中で記念するような大きな出来事があったら、何か記念のものを作ると良いと思います。』そのような内容です。

その後の、本校の野球部の大活躍は皆さんご存知の通りです。

四十六年前、私は引率者としては最年少で、生徒会の生徒たちと春の甲子園に行きました。そして今回は、引率者最年長で、夏の甲子園に行くことができたことを感謝すると共に、運の良さを実感しています。

先日、三十年前に甲子園に行った当時の卒業記念アルバムを、偶然に本校の金安教頭先生から見せていただきました。その中に、前橋高校で甲子園に行った時、その学年の担任をしていた英語の木村憲太郎先生が写っていました。木村先生も二校で甲子園の経験をするという運の良さを感じていたのではないかと想像しました。

九月に入り、中学生の諸君が、科学のジュニア甲子園の群馬県予選で見事優勝して、全国大会への出場を引き寄せてくれました。会場は甲子園球場と同じ兵庫県です。また、少年の主張コンクールで県代表に選ばれ、全国大会の発表候補者として推薦された生徒や卓球で全国大会

出場を決めてくれた生徒もいます。

このような生徒達の朗報を受けることができ、自分自身がとても運に恵まれていると思っているところ です。

これは個人的なことですが、この夏、我が家のプリウスに妻が乗っていて、たまたま雹に遭い全損してしまいました。「物は考えよう」ということわざがありますが、これを運が悪いと思うかどうかで変わります。その時はがっかりしても、車が破損しただけで怪我をすることもなく、他に危害を与えることもなかったのが幸いでしたと考えることにより、次の一步が踏み出せるのだと思います。

中学生の皆さんも、自分は運が良いと考えることが大切だと思います。樹徳中学校に毎日無事に通っていること、無事に家に辿り着くことなど、どれを考えても運が良いのです。普通に生活できている事さえも運が良いことの積み重ねであると改めて感じます。

さらに、運の良さを引き寄せるには弛まぬ努力です。普段の練習の成果と、試合当日無事に試合ができたことにより結果がついてきたのだと思います。

試合が開催されてこそその結果でもあります。そして、運が良かったというだけでなく、その場面に自分ができることができたということに感謝をする心を持ってほしいと考えます。

新しい時代を開いていく皆さんは、感謝、努力、そして謙虚さを忘れず、それぞれの分野で力を発揮し、成果をあげてくれることを期待します。

校長 辻村 好一

◆高原学校

8月25日(木)に、中学1年・2年合同で、尾瀬高原にて高原学校を実施しました。各班に1人ずつネイチャーガイドがつき、説明を聞きながら、高原の散策をおこないました。天候にも恵まれ、雄大な自然を満喫する生徒の姿や、学年を越えてコミュニケーションをとる姿が見られました。

【生徒感想の俳句】

尾瀬の道 疲れた先に 赤トンボ
霧晴れて 心を晴らす 尾瀬高原



初代生徒会発足!



生徒会 会長
2年S組
恩田 愛香

みなさん、こんにちは。この度、生徒会長を務めさせていただくことになりました、2年S組の恩田愛香です。生徒会選挙に協力して下さった選挙管理委員会のみなさん、生徒のみなさん、そして先生方のおかげで、今、この場に立つことができました。本当にありがとうございました。

私が生徒会長を務めたいと思ったのは、今年度、月影祭実行委員長を務めたことがきっかけでした。多くの方と関わり、意見を聞き、悩むことの繰り返しでしたが、「より良いものを作りたい」という気持ちで何とか乗り切り、他に代えられない経験となりました。そして、生徒会発足の話聞いた時、「樹徳高校をさらに楽しく良い学校にしたい」と、強く思いました。

私は、この思いを実現するために、2つの公約を掲げました。

1つ目は、皆さんの学校生活を全力でサポートすることです。この活動の内容として、校則の見直し、また、今ある行事をさらに楽しくするにはどうするか、日頃から、みなさんの意見を取り入れ、過ごしやすく、楽しいものにしたいと考えます。2つ目は、1年に文化祭と体育祭を同時開催のすることです。これは、今年度の月影祭で最も多く出された意見でもあり、私自身、なんとしても実現させたいと考えていたことの1つでもあります。

この他にも、ワクワクするような楽しい企画で、樹徳高校を盛り上げていきたいと考えています。

生徒会長は、樹徳高校の生徒の鑑であり、牽引していく責任を背負うこととなります。私は、まだまだ未熟な身ではありますが、学校をより楽しいものにするために、生徒会メンバーとともに、精進して参ります。そして、より良い学校を創り上げていくためには、樹徳高校の生徒であるみなさんの協力が、なんとしても必要です。ぜひ、積極的なご協力をお願いします。

生徒会のスローガンである「～アオハル～輝けそして創れ新時代」を胸に、みなさんと一緒に、樹徳高校の新しい歴史を創り上げていきたいと思っています。

今、勢いのある樹徳高校の良い雰囲気を繋いでいけるよう、最善を尽くして頑張りますので、よろしくお願いします。



生徒会 副会長
2年SS組
嵯峨 春日菜

この度、生徒会副会長を務めさせていただきます、2年SS組の嵯峨春日菜です。このような大役を務めさせていただけるのは、生徒会選挙にご協力いただいた、たくさんの方、選挙管理委員会の方々、そして生徒の皆さんのおかげです。ありがとうございました。

樹徳高校初の生徒会、新たな歴史の土台を築く者として、副会長という名に恥じることの無いように、会長のサポートはもちろん、生徒会活動を円滑に行えるよう取り組んでいきたいです。また、公約で掲げた「女子生徒の靴下の長さの自由化」と「意見箱の設置」も、可能な範囲で実現したいと思います。初めのうちは、なかなかうまくいかないこともたくさんあると思いますが、そんなときこそ生徒会メンバーのみなさんと協力して活動していけたらと思います。

まだまだ未熟な部分も多いですが、副会長として会長をサポートできるよう一杯頑張りますので、1年間どうぞよろしくおねがいたします。



生徒会 副会長
1年K組
吉満 律稀

皆さんこんにちは。この度、生徒会副会長に就任いたしました、1年K組吉満律稀です。

まず、今回の樹徳初となる選挙へのご協力に心より感謝申し上げます。選挙時に私は「校則をより良く、全ての無駄を減らす」という公約を宣言しました。そのため、生徒会副会長という役職を活かして、時間はかかってしまうと思いますが、それでも確実に、目安箱等を通じて皆さんの意見を理解していき、公約達成に向けて努力していきます。

私がこれからの生徒会活動の中でも特に重視したいことは「全ての無駄を減らす」という点です。

「全ての無駄を減らす」と聞いて“それって何をやるんだ?”と疑問に思う人もいます。それは主に、余分な印刷物を減らしたりなど、基本的な事から取り組んでいきたいです。

生徒会は、私にとって初めての経験で、まだまだ至らぬ点があると思いますが、樹徳高校の初代生徒会として誇れる結果を残せるよう頑張ります。約1年間、よろしくお願いします。

樹徳高等学校では、令和4年度よりいよいよ生徒会が発足します。8月30日に会長・副会長選挙、9月1日に執行部役員及び本部役員選挙が行われ、9月5日に初代生徒会メンバーが発表されました。そのメンバーの意気込みを紹介します。



**生徒会 副会長
一貫校代表
4年1組
猪越 優叶**

こんにちは。

この度、生徒会副会長を務めさせていただきます。4年1組の猪越優叶です。

私が任せていただいた、副会長兼一貫校代表という役職は、大変ですがやりがいのある仕事であり、本校と一貫校との架け橋となるととても重要なポジションだと感じています。

これから樹徳生の皆さんのご期待に応えられるよう、生徒会長のサポート、また一貫校の代表として、精進してまいります。

皆さんの学校生活をより充実したものにし、卒業後も「樹徳に来てよかった」「楽しかった」と思い出に残る学校にしたいと思っています。

約一年間という短い間ですが生徒会の一員として活動させていただきます。

どうぞよろしくお願い致します。



生徒会 会計 2年SS組 長澤 香澄

この度、生徒会執行部の会計を務めさせていただくことになりました、2年SS組の長澤香澄と申します。私は、生徒会に所属するのは今回が初めてです。少し緊張もありますが、選挙の末にこの役職に就いたことに、誇りを持って励もうと思います。皆さんの樹徳高等学校での学校生活がより良いものになるように、執行部の一員として、生徒会を支えていけるよう全力を尽くします。これから約一年間、よろしく申し上げます。



生徒会 会計 2年S組 赤上 誌侑哉

この度、生徒会の会計になりました、2年S組の赤上誌侑哉です。始めに、生徒会の立ち上げに携わってくださった先生方、選挙管理委員会の皆さん、後押ししてくださった皆さん、ありがとうございました。役割を仰せつかったからには、自分の仕事を責任を持ってやり遂げること、プラス、自分に何が出来るかを考えて行動できるよう。全力で頑張っていきます。宜しくお願いします。



生徒会 書記 1年S組 岸 士童

この度、生徒会書記をさせていただくことになりました、1年S組の岸士童です。皆さんのおかげで、この重要な役職に就くことが出来ました。初代生徒会という誇りと緊張感をもって、「1年生で大丈夫か?」と言われることがないよう、生徒会長を中心とする執行部メンバーで、この樹徳を新しいものにしていきたいと思っております! 1年間よろしく申し上げます!



生徒会 書記 5年2組 尾之内 菜々子

この度、生徒会執行部の書記を務めさせていただくことになりました、5年2組の尾之内菜々子です。今回の選挙では、たくさんの方々にご協力をいただき、本当にありがとうございました。

これから活動していくにあたり、会長の補佐をしながら、皆さんの学校生活がより充実したものになるように、精一杯努めて参りたいと思っております。また、感謝の心を忘れず、他の役員と協力して活動していきたいと思っております。皆さん、これからもどうぞ宜しくお願い致します。



生徒会 庶務 2年K組 石井 園乃

生徒会執行部庶務に就任いたしました、2年K組の石井園乃です。

私は、まず生徒会として生徒の模範となるような行動をしていきたいと思っております。

そして、初代生徒会として、その名に恥じないような働きをしていきます。また、会長ばかりに負担をかけないように、協力し、分担しながら頑張ります。学校のために、みんなが過ごしやすい学校にするために、身を粉にして働きたいと思っております。1年間よろしく申し上げます。

幼稚園だより

◆運動会本番に向けて頑張る子どもたち

「暑さ寒さも彼岸まで」と昔から伝わるように、このところ暑さも少し一段落した感じがします。特に朝晩は冷え込みますので、今までの調子で寝ていると風邪を引いてしまいそうです。10月を迎え、幼稚園では衣替えとなり、夏服から冬服に替わります。

10月8日(土)は、子どもたちが楽しみにしている運動会が予定されています。本来ならば、ご来賓の皆様、地域の皆様、おじいちゃん、おばあちゃんを含めたご家族の皆様などたくさんの皆様に、ご観覧いただきたいところですが、今回もコロナウイルス感染拡大防止を考慮に入れ、保護者2名に制限し、内容も縮小して開催させていただきます。



運動会に向けて、リズム遊戲の練習。

そのような形で開催させていただく運動会ですが、子どもたちにとっては「心待ちの運動会」です。9月中旬にもなると、運動会に向けて、ダンスをしたり、かけっこをしたり、リレーをしたりと練習も一生懸命です。特に年長のたけ組の子どもたちは、幼稚園最後の運動会となるために、一段と熱が入っています。リズム遊戲を協力してすばらしい作品に完成させようと、みんな真剣です。また、始めはなかなか踊れなかった満3歳のすみれ組の子どもたちですが、「パパとママに観てもらおうんだ」と、小さな体で必死に練習を頑張っています。その姿はとても可愛らしく、当日の発表が楽しみです。

子どもたちは、この運動会の練習と本番を通して、心も体も大きく成長します。

◆親の関わり方が、「ことば」の発達を左右する

子どもにとって、自分が何をしたいのか、また保育教諭や友達に何をしてもらいたいのか、自分の意思や気持ち等を伝えられることは、幼稚園で生活する上で大事なことです。園児の様子を見てい



思い出がまた一つできたよ。
年長組の『お泊まり会』

ると、多少の個人差はありますが、2歳になったばかりでは、二つ三つの単語を並べたことばしかしゃべれず、ジェスチャーや顔の表情、体の動きで意思を伝えようとしています。半年ぐらい過ぎると、多くのことばを使い、2語文で自分の意思を表現したり、質問をしたりしてくるようになります。そして、3~4歳になると、動詞を過去・現在・未来の時間の違いに使い分けて話ができるようになってきます。このように、1年、2年で、こんなに早く、しかも豊富なことばが使えるようになるのです。驚きですね。

人間の脳は3歳までに80%完成するということが、いろいろな書物や研究物に述べられていますが、それに関連して、3~4歳頃の子どものとって、語彙を増やしていくことは、知性の発達にとっても必要なことであると言われています。では、子どもはどのようにして語彙を習得していくかというと、自分の周りにおける出来事や物事について、親から与えられた情報の量に応じて、語彙を身に付けていくそうです。しかし、親に「これ何?」「あれ何?」と質問したことに対して、親の反応が適切でなかったり、質問したことに対して答えなかったりした場合に、語彙を増やそうとしている子どもの努力は無駄になってしまいます。

ことばの使い方をじょうずに教えるためには、ことばを一つ一つ繰り返して、正確な発音を教えてあげることです。これらのことから、子どものことばの発達を促すために、そして、知性の発達につなげていくためには、親の関わりが重要だということが分かります。

園長 佐野 悦生



怪我もなく、たくさん楽しめた水遊び。
プールに感謝しての『プール納め式』

令和4年度入園児募集中

- ◎2歳・満3歳・3歳児の入園をお待ちしています。
- ◎募集人員 2歳児 10名、満3歳児 10名、3歳児 10名
- ◎入園受付：1年を通して随時受付、入園できます。見学もいつでもできます。
- ◎お問い合わせは、樹徳幼稚園 佐野まで。 ☎0277-53-5571
桐生市広沢町三丁目4475番地

ホームページ <https://www.jutoku.ed.jp/kinder>

10月(正念)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一 貴 校	幼 稚 園
1	土	更衣 3年生ベネッセ・駿台記述模試②	学校説明会	開園日(預かり保育)
2	日			
3	月	校内安全点検日 中間試験(～5日)	更衣 校内安全点検日 中学・中間試験(～4日) 高校・中間試験(～5日)	衣替え 安全点検日
4	火	後援会役員会②	中学 薬物乱用防止教室	読み聞かせ(西山先生)
5	水	授業料・第2回諸費納入日 3年生普通自動車教習開始 県校長会		
6	木	1年生校外学習(7,13～14日)		運動会予行演習
7	金	大掃除 中学生入試体験プレテスト会場作成 1年生校外学習 関東地区私学教育研究集会(宇都宮)		運動会前日準備 保育料納入日
8	土	職員出勤日 中学生入試体験プレテスト 英語検定②一次	マイトリー 抛金日 漢字検定	運動会
9	日			運動会予備日
10	月	スポーツの日		
11	火	教育連携講座⑩	振替休日	運動会振替休業日(預かり保育)
12	水	教育連携講座⑪ 私学振興全国大会(メルパルク東京) 日私中高連常任理事会		英語・文字(年長)
13	木	1年生校外学習 県私学保護者連合会理事会(白根開善)		体育・文字(年中)
14	金	1年生校外学習 県高P連東毛地区指導者研究集会(太田市) 中学生入試体験プレテスト予備日会場作成		
15	土	オープンスクール(部活動/授業体験)	中学校模試 数学検定②	開園日(預かり保育)
16	日	中学生入試体験プレテスト予備日		
17	月	振替休日(10/15.23)		リズム(全)・線(年少)
18	火			むし歯予防教室(年長) 読み聞かせ(西山先生)
19	水	教育連携講座⑫ 関東高P連役員会(～20日)		お茶のお稽古(年長)④ 英語
20	木	全国私学教育研究集会(岐阜)(～21日)		体育・文字(年中)
21	金	合唱コンクール(1年生) 漢字検定②	合唱コンクール(4年生) 漢字検定	遠足
22	土	3年河合塾全統記述模試③ 1・2年ベネッセ実力診断(課外受講者) 後援会研修旅行		開園日(預かり保育)
23	日	オープンスクール(部活動/授業体験)		
24	月	朝礼 制服アフターサービス 教育連携講座⑬	三越アフターサービス	リズム(全)・線(年少)
25	火			ボール投げ教室(年中・年長)
26	水	教育連携講座⑭ 3年河合塾全統共通テスト模試(27,29日)		英語・文字(年長)
27	木		中学合唱コンクール	体育・文字(年中)
28	金	群馬県民の日		
29	土	進学コース入試相談会		開園日(預かり保育)
30	日			
31	月	LHR 教育連携講座⑮ 修学旅行事前指導① 3年ベネッセ駿台大学入学共通テスト模試		リズム(全)・線(年少)

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の状況により予定が変更されることがあります。



桐生錦町一丁目

盛運橋薬局前

■樹徳コミュニティセンター「み法」

無料相談会

(働き方改革、労働問題、ハラスメント、年金等)

10月1日(土) 10:00～15:00

杉戸健二さん

11月(正定)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一貫校	幼稚園
1	火	校内安全点検日	校内安全点検	安全点検日 避難訓練(火災) 読み聞かせ(西山先生)
2	水	球技大会抽選 教育連携講座⑯ 3年ベネッセ駿台大学入学共通テスト模試		英語(全)・文字(年長)
3	木	文化の日		
4	金			お誕生会(10・11月生)
5	土	個別入試相談会① 1・2年ベネッセ総合学力テスト 3年ベネッセ駿台大学入学共通テスト模試	第一期中学入試	開園日(預かり保育)
6	日	英語検定②二次		
7	月	授業料納入日 LHR 2年生修学旅行事前指導③(1~3時限)		リズム(全)・線(年少)
8	火			さつまいも掘り(全)
9	水	校内球技大会 教育連携講座⑰ 日私中高連常任理事会	高校 校内球技大会	英語・文字(年長)
10	木			保育料納入日 体育・文字(年中)
11	金	中高協会定例会(共愛) 書写技能検定②		卒園・修了写真撮影
12	土	個別入試相談会②		開園日(預かり保育)
13	日			
14	月	朝礼 運営委員会④ 制服アフターサービス	三越アフターサービス	リズム(全)・線(年少)
15	火	マナーアップ運動③	マナーアップ運動	七五三祝い 読み聞かせ(西山先生)
16	水			お茶のお稽古(年長)⑤ 英語
17	木	期末試験(～22日) 県高P連指導者研究会(前橋テルサ) 修学旅行事前指導③ 青少年育成研修会(名古屋) 中高協会75周年記念式典(ラシーネ)	中学・期末試験(～21日) 高校・期末試験(～22日) 三者面談(～22日)	保護者会幼稚交連主催防犯教室
18	金			焼き芋会 群私幼主任研修会
19	土			開園日(預かり保育)
20	日			
21	月	教科主任会⑥		リズム(全)・線(年少)
22	火	1年生進路ガイダンス		ボール投げ教室(年中・年長) 群私幼稚園長研修会
23	水	勤労感謝の日		
24	木	3年河合塾全統ブレ共通テスト模試(～26日)	医系進学講座⑦	体育・文字(年中)
25	金	平和学習(1年生) 2年生修学旅行直前指導	平和学習(4年生)	文字(年長)
26	土			開園日(預かり保育)
27	日	2年生修学旅行(～30日)	5年生修学旅行(～30日)	
28	月	LHR 3年SSKS組三者面談(～12月2日)		リズム(全)・線(年少)
29	火			文字(年中)
30	水	出欠統計提出		英語・文字(年長)



樹徳高等学校

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号
TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671 Mail j-koukou@jutoku.ed.jp

樹徳中学校

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12
TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262 Mail j-chugaku@jutoku.ed.jp

樹徳幼稚園

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475
TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572 Mail j-youtien@jutoku.ed.jp

Web <https://www.jutoku.ed.jp/>

発行責任者 野口 秀樹 印刷所 太陽印刷工業(株)

夢は大きく 根はふかく